

井の頭恩賜公園花便り



ヤツデ ウコギ科

別名：テングノハウチワ

常緑低木で日陰に耐える事から北向きの場所に植える樹木として利用されています。葉は大型で掌状に深く裂けた独特の形をしています。秋から冬に枝先に放射状に丸い花序が集まった白い花を咲かせます。花が少なくなる冬にはひととき目立ちます。果実は春に赤褐色から黒褐色に変化し熟します。



雄花（右）から雌花（左）に変化します

両性花で、雄しべが成熟して花粉を出した後、雄しべと花弁が落ち、雌しべの柱頭が発達する面白い花の特徴をしています。